

平成29年度 対策一覧表

鳴沢小学校

平成29年7月 時点

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度
1	村道215号線	総合センター東側	・東から国道の側道を歩いてきた児童が、総合センター側に渡るときに、奈良紙器方面からの通行車から児童が見えにくい。	昨年度までの検証結果により、路面のカラー舗装、横断旗の設置、ガイドミラーの設置等、実施可能な対応はしてきており、現状以上の対応が難しい状況。交差点の構造上の問題が大きいため看板を設置したことによる効果も期待できない。現地での指導が最も効果的であるため、特に年度当初は十分な指導をお願いしたい。	学校	H29
2	国道139号線	吉野荘近くの歩道	・ガードレールが破損していて、歩道側に曲がっている。	合同点検の時点で修繕済。	—	—
3	国道139号線	一本木バス停前の横断歩道(現在工事中)	・車からの見通しが悪い。 ・スピードを出す車が多い。	現在工事中。全ての工事が終了するまでには今年度いっぱいかかる見込み。工事完了後は鋭角に曲がれなくなり、現在危険であると指摘されている場所は車の通行がなくなる。	道路管理者	H29
4	村道Ⅰ-2号線	村民体育館～ふじてんスノーリゾート	・大型車が多くスピードを出し歩道側にはみ出す。 ・横断歩道がないため横断するのが危険。	横断歩道の設置は交通量及び利用人数が規定に満たないため不可能。また、歩道と車道を分離する植栽や縁石の設置も不可能。今後も注意しながらグリーンベルトを利用するよう指導していただきたい。	学校	H29
5	村道594号線	国道から南側の村道	・車がスピードを出す。	看板の設置を検討する。	道路管理者	未定
6	村道Ⅱ-5号線	吉野荘～別荘地	・車がスピードを出し、反対側にはみ出す。	センターラインの設置はスピード超過を助長する可能性がある。視覚的に道路を狭く見せるようにするため、今年度、路側帯を設置した。	道路管理者	H29
7	村道73号線	ミウラ建設～西側十字路	・道幅が狭くて危険	将来的に道路拡幅を計画している。	道路管理者	未定
8	国道139号線	鳴沢バス停周辺	・樹木が生い茂っていて車道から見えにくい。	地権者に樹木の伐採を依頼する。	道路管理者	未定

【対策検討メンバー】教育委員会、小学校、PTA、甲府河川国道事務所、富士・東部建設事務所、富士吉田警察署、鳴沢村振興課、鳴沢村企画課、SGL